

盲導犬のルーツを探る

⑦

日本国内での盲導犬訓練の始まり②

1957年 国産第一号の盲導犬『チャンピィ』誕生

1948年より、塩谷賢一氏が盲導犬育成の研究を開始し、1957年夏に河相来洌氏所有のシェパードを訓練し、国産第一号とされる盲導犬チャンピィが誕生。

1967年（昭和42年） 財団法人日本盲導犬協会設立

初代理事長参議院議員迫水久常氏等により厚生省（現：厚生労働省）の認可を得て、日本初の盲導犬協会である財団法人日本盲導犬協会が設立（8月10日）。

1978年（昭和53年） 道路交通法に盲導犬規定

『目が見えない者は、道路を通行するときは、政令で定める杖を携え、又は、政令で定める盲導犬を連れていなくてはならない』と規定。

政令で定める盲導犬とは、盲導犬の訓練を目的とする法人または社会福祉法人で、国家公安委員会が指定したものが盲導犬のとして必要な訓練をした犬又は盲導犬として必要な訓練を受けていると認められた犬で、内閣府令で定める白色又は黄色の用具を付けたものとする。

2002年（平成14年） 身体障害者補助犬法成立

身体障害者補助犬を訓練する事業を行う者及び身体障害者補助犬を使用する身体障がい者の義務等を定めるとともに、公共施設・公共交通機関を利用する場合において、身体障害者補助犬を同伴することができるようにすることにより、身体障がい者の自立及び社会参加の促進に寄与することを目的とした法律。この法律の中では、盲導犬を含む身体障害者補助犬を使用している身体障がい者の権利を保障し、身体障害者補助犬の同伴を拒むことがないようにする一方、身体障害者の義務、身体障害者補助犬を育成する施設の義務を明記したものとなっている。